



オホーツクの未来を創る19の方針

長い冬、厳しい寒さに包まれる、このオホーツクの大地で、古代から人々は暮らしてきた。

時代の移り変わりは、時に私たちが豊かにし、時に私たちが追い詰める。

それでも私たちはこの地に生き、暮らす。世界がどんなに変化しても、この地が持つ、豊かな暮らしを知っているからだ。

その暮らしの中心には、いつも仕事がある。

だからこそ、私たち企業は仕事を通じ、暮らしをさらに豊かにするものでありたい。一人一人の幸せを支え続けるものでありたい。

そのために、次代を描く。



オホーツクビジョン【前文】

経済のグローバル化や少子高齢化による人口減少社会など日本の社会構造の急激な変化の中で、地方では人口流失が止まらず、人材不足や事業承継問題など、地方の中小企業を取り巻く環境は厳しさを増しています。北海道オホーツク地域も例外ではなく、都市部にはない魅力や強みを見出し活かしていく新たな視点からの打開策が求められています。いまだ解決の糸口が見えません。

近年、「幸福度」を尺度とする考え方が世界に広がっていますが、オホーツクには豊かな自然と共にここにしかない暮らしの豊かさがあり、経済的な指標には表れない価値が幸福度から見えてきます。また、地域の幸福度は、私たち中小企業の活動と密接につながっています。地域住民は、暮らしの価値を提供する顧客であり、目的と時間を共にする従業員であり、また互恵関係を築き取引先でもあり、企業が良くなれば、地域住民の幸福度も高くなります。正に企業は地域の幸福を創造していると言っても過言ではありません。

困難な時代に遭遇している今こそ、幸福度という新しい観点から、中小企業が連携を深め、よりよい事業を展開して地域の魅力を磨き、豊かさを高めていくこと、さらにはその地域のあり方を広く発信することが求められているのではないのでしょうか。

(一社)北海道中小企業同友会オホーツク支部は、「オホーツク地域が雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、住民一人ひとりが幸福で豊かな暮らしを営み、人生を謳歌(おうか)すること」を目的に掲げ、具体的な「目指す姿」として「オホーツクビジョン」の策定に取り組みました。

これまで3年にわたり支部会員に対して複数回に及ぶアンケートを実施、ワールドカフェ※1、ハッカソン※2などの数々のイベントでの意見を集約するなど、多くの会員の思いや意見をできる限り取り入れ構造化し、ひとつひとつの項目を詳細に検討して成案を作成しました。

支部会員の思いが詰まった「オホーツクビジョン」は、いわば国連が目指しているSDGs※3のオホーツク版とも言えるものです。幸福度の高い持続可能な地域社会というビジョンを共有し、目指すべき姿を具体的にイメージすることで、中小企業だけでなく、行政や住民、地域全体が連携を深めることができるはずです。このビジョンが山積した課題の突破口となり、オホーツクの求心力となることを期待し、共に活用していくことを、ここに提言します。

※1. ワールドカフェ (World Cafe)
Juanita Brown 氏と David Isaacs 氏が、1995年に開発・提唱した会議でディスカッションする方法。メインテーマを全員で共有したのち、いくつかのグループに分かれて議論し、その後、ほかのグループに移ることで、さまざまな気づきやアイデアを得ることを目的としたものです。

※2. ハッカソン (Hackathon)
Hack と marathon との造語で、もともとソフトウェア開発のイベントとして行われるものですが、それぞれの技術、知識を持ち寄り限られた時間でものやアイデアを作り出すイベントです。アイデアのみの場合、アイデアソンとも言われます。

※3. SDGs (エス・ディー・ジーズ)
“Sustainable Development Goals” 「持続可能な開発目標」の略。2015年の国連サミットで採択され、国連加盟の193カ国が2016年から30年までの15年間で達成するための目標です。17の大きな目標とそれを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。



<https://okhotsk-doyu.com>

一般社団法人
北海道中小企業家同友会オホーツク支部

中小企業家同友会などの活動への積極的な参加
シヨンを大切にしている
イベントに参加するなど、社内のコミュニケーション

町内会などの支援を行っている
CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み

居酒屋など、事業がコミュニケーションの活性化に貢献している
コミュニケーションツールなどの販売

地域を元気にする
コミュニケーションの活性化

母なるオホーツクの自然に感謝し、ふるさとを想う気持ちで
結ばれた人と人が多様性を認め支え合い、
地域と地域が活発な交流で高め合う「関係づくり」

人・地域・自然とのつながり

オホーツクビジョンの目指す姿・方針



住民一人ひとりが幸福で豊かな暮らしを営み、
雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、
人生を謳歌すること。

オホーツク地域が

オホーツクビジョンの目的

献血などの社会奉仕への推奨
協働やボランティア活動への参加を推奨
同友会に参加している

冬垢一掃運動への参加
CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み

連携や共働、協働に必要な人材や場を提供している
社会課題解決に対する業界団体と連携した事業
産学官金等と連携した事業

多様な連携と
共働ができる
社会システムの実現

社外行事や講演会などへの参加推進
副業を認める
同友会に参加している

新しい結びつきが生まれる切っ掛けを作っている
出会の場を提供している
CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み

インターネット配信等の事業
テレワークの推進事業
出会の場を提供している
顧客同士を結びつける役割を担っている

地域内外の新しい
ネットワークの形成

社内の取り組み
植林ボランティアへの参加

社内の取り組み
地域の農地水環境保全対策事業への参加
植林への参加
CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み

事業としての取り組み
ホタテ等の養殖
土壌や水質改善等の商材販売
環境アセスメントに関わる事業
林業の植林

天然資源を保全し
活用する持続可能な
仕組みづくり

社内の取り組み
自然保護事業ボランティアなどの推奨
知床自然大学との関わり

社内の取り組み
ボランティア活動への参加
公共のゴミ拾いを実施している
CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み

事業としての取り組み
自然保護に必要な商材販売
ネイチカーガイト
環境負荷の軽減を考慮した事業(バイオガス、産業廃棄物の再利用、産廃の軽減等)
産業廃棄物の適切な処理の推進、啓発

畏敬の念を持ちながら
一人ひとりが参加する
自然保護

2 一人ひとりの豊かさ

新しい時代を切り拓く知性・感性と、
真の豊かさを知る寛容な心、
そして生涯元氣な身体を持つ「人づくり」

2.1 心身の基礎を培う 自然体験

事業としての取り組み例

- 自然体験に必要な商材販売
- 自然体験サービスの提供(ネイチャーガイド等)

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 自然体験事業への協賛

社内での取り組み例

- 社内でキャンプを実施
- 釣り部などが会社にある
- 自然体験事業への参加よびかけ
- 登山道の草刈ボランティアなどの推進

2.2 地域の特性を活かした 体験学習

事業としての取り組み例

- 地域の特性を活かした
体験学習メニューの提供(旅行会社)

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 工場見学や学校の社会見学の受け入れ
- インターンシップの実施
- 農泊、援農事業の推進

社内での取り組み例

- 体験学習の推奨

2.3 先人から継承した 地域の歴史教育

事業としての取り組み例

- 地域の歴史を発信する商材販売

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 地域の歴史教育事業への協賛

社内での取り組み例

- 地域の歴史を発信

2.4 心身を鍛える スポーツ振興

事業としての取り組み例

- スポーツ用品の販売
- スポーツジム

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- ロコソラーレなどスポーツチームへの支援
- スポーツ大会の主催や協賛

社内での取り組み例

- 「勤労者福祉サービスセンター」への登録
- 朝野球の推奨
- スポーツ施設・器具等の整備

2.5 想像力を育む 文化活動振興

事業としての取り組み例

- 楽器、画材などの販売
- カルチャーセンターなどの運営
- 美術展、興行の誘致

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 文化活動に対する支援

社内での取り組み例

- 美術品の収集・展示
- 文化活動に対する助成

2.6 生きがいを支える 生涯学習

事業としての取り組み例

- 生涯型学習イベントの実施
- 学習教材の販売

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 生涯学習に対する支援

社内での取り組み例

- 生涯学習に対する助成

2.7 生涯いきいき 活躍できる健康生活

事業としての取り組み例

- 健康食品の販売
- 健康運動器具の販売
- スポーツジム
- 安全でバランスのいい食事の提供
- 高齢者の活用

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 健康増進事業への支援

社内での取り組み例

- 健康増進事業(「からだ見直し講座」など)への参加推進
- ラジオ体操の実施
- 社員食堂でバランスのいい食事の提供
- 健康についての講演会の実施

3 社会経済環境の充実

持続可能で自立した元氣な経済、世代を超えて
安心して暮らせる社会と、次代に向けた
新しいオホーツク文化の創造を目指す「環境づくり」

3.1 地域資源の 高付加価値化と 地消地産の追求

事業としての取り組み例

- 地場産品の高付加価値化
- 地域資源にこだわった新商品の開発
- 職員への教育訓練
- 大手に負けない商材やサービスの提供
- 地元で消費するものを地元で生産
- 地域への人材還流システムの構築

社内での取り組み例

- 発注は出来るだけ地元が発注

3.2 持続可能で効率的な 社会基盤の形成

事業としての取り組み例

- インフラ・ライフライン等の整備事業
- 持続可能で災害に強い事業展開(BCP)
- 生活に欠かせない商材の安定供給
- 環境負荷を考慮した事業運営
- 情報発信のための情報インフラ(サイト)などの構築

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- インフラの誘致、存続運動

社内での取り組み例

- 省エネの推進

3.3 畏敬の念を持ちながら 一人ひとりが参加する 自然保護

事業としての取り組み例

- 労働環境を改善する商品・サービスの販売

社内での取り組み例

- 労働環境改善の推進
- 労使委員会の設置
- ハラスメント対策への取組み
- ワークライフバランスの推進
- オホーツクならではのテレワーク、職場の実現
- ワークেশンの導入

3.4 安心して出産、 子育てができる 環境の整備

事業としての取り組み例

- 産婦人科
- 幼稚園、保育園
- 子育て環境改善に必要な商品・サービスの販売
- こどもクラブの運営

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 子育て環境改善への支援
(遊具の寄付、子育て用品の寄付など)
- 子供を意識した興行、イベントの実施

社内での取り組み例

- 育児休業制度の整備
- 企業内保育の開設

3.5 時代を先導する 医療・福祉の推進

事業としての取り組み例

- 医療施設
- 5GなどIT技術を使った医療の推進・福祉施設
- 医療機器販売
- 介護用品販売

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 福祉施設への支援(老人ホームの催し開催)
- 高齢者住宅への見守り巡回

社内での取り組み例

- 介護休業制度の整備
- 地域医療連携の推進(かかりつけ医制度の啓発、普及)
- 健康診断、人間ドックの推進の補助
- 予防医療の推進
(消毒用アルコールの設置、ワクチン補助)

3.6 愛着が湧く 文化的なまちづくり

事業としての取り組み例

- 建設業
- 店舗経営
- 文化に関わる事業

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 文化活動の支援(お祭りなど文化事業への協賛)

社内での取り組み例

- お祭りへの参加を推進
- コンサートなどの誘致、興行
- 芸術家などの支援、移住促進
- 文化財の掘り起こし、収蔵、公開

3.7 自然の恩恵と生活の 質を大切にする 暮らしのすすめ

事業としての取り組み例

- 憩いの場の提供(カフェ、レストラン、ガーデン)
- ガーデニング事業
- ズビエの提供
- 新鮮な地場食材の提供
- オホーツクならではの暮らしを演出する商品・サービス
- 自然の恩恵を活用したレジャー
(釣り、キャンプ、スキー、ゴルフ)の為の商品・サービス
- ペレット・薪ストーブの活用
- オホーツクの体験型観光の推進
- 快適な住環境の提供・情報発信

CSR(企業の社会的責任)や社会貢献としての取り組み例

- 自然の恩恵を活かしたイベント
(香りゃんせフェスティバルなど)への支援

社内での取り組み例

- 緑化運動への参画
- オホーツクの情報の積極的な配信
- オホーツクらしい生活、活動の紹介と奨励